

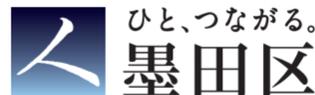
墨田区のお知らせ

No.2111

2024年(令和6年) 7/1

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面・・・介護保険料等
- 3～6面・・・講座・教室・催し・募集
- 7面・・・すこやかライフ
- 8面・・・つながる すみだ人



墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>

「すみだらしい食育文化」ってなんだろう?



墨田区食育推進計画の

「定性的な評価」の

基準を作っています!

区では、「みんなが笑顔でたのしい食環境を通じて豊かな人生をおくる」ことをめざし、墨田区食育推進計画(以下、本計画)を策定しています。今号1面では、本計画の目標である「すみだらしい食育文化」を育むことについて、達成状況を測る指標の1つ、「定性的な評価」の基準となる独自モデルの作成状況をお知らせします。

[問合せ]健康推進課地域保健担当 ☎5608-6517

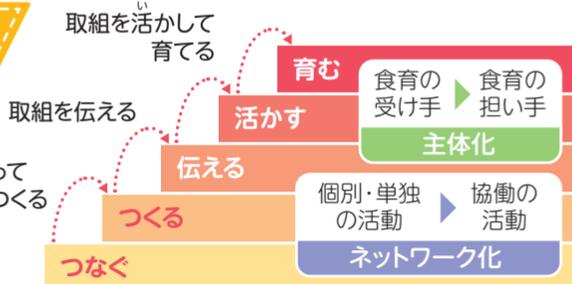
「すみだらしい食育文化」を育むために — 本計画のめざすところ

スローガン

夢をカタチに! 手間かけて みんなでつくる すみだの食育 “食を通じて育む区民一人ひとりの豊かな人生”

食を通じて実現したい“夢”を区民等と区が共有し、その実現に向けて、世代や分野、地域を超えた多様な主体がつながり、“手間かけて みんなで”創り上げていく協働の環境を実現します。また、区民一人ひとりが自ら食育の取組を実践し、その体験から得た感動を原動力に、さらにみんなで食育の取組を創り合う“協創”の実践を大切に、これを推進していきます。

5つの行動ステップによる食育の展開(すみだ方式)



「つなぐ」を基本として推進するよ!



5つの基本目標

5つの視点から、様々な食育の取組を推進しています!



- 食で「ひと」を育む**
多様な主体をつなぎ、創造的な食育を推進する人づくりの視点
- 食で「まち」を育む**
食を通じた出会いが豊かさを生む魅力あるまちづくりの視点
- 食で「交流」を育む**
多様な人々が集い、一緒に作って食べるなどの「協食」の視点
- 食で「安心」を育む**
食の安心・安全、災害時の食支援に関わる仕組みづくりの視点
- 食で「協働」を育む**
食に関わる多様な主体によるネットワークづくりの視点

「定性的な評価」の基準(独自モデル)の作成 — 「すみだらしい食育文化」を再認識する!

本計画では、基本目標の達成状況を「定量的な評価」「定性的な評価」「特徴的な活動事例」の3つで評価しています。

定量的な評価

区の取組の達成度や区民へのアンケート調査結果等の数値による評価

定性的な評価

食育の実践から育まれた区民・区の意識や行動の変化を評価

特徴的な活動事例

特徴的な食育活動の事例を集め、受け手や担い手へのヒアリング等により評価

このうちの「定性的な評価」について、現在区民等と区が協力し、評価のための基準となる独自モデルを作成しています。

基準作りに向けた方針

「すみだらしい食育文化」の「暗黙知」の明確化

すみだの食育ってこんな感じだよ!



この活動ってすみだっぽいなあ...



明確化に向けて、区民等と区で「手間かけて みんなで」合意しながら進めます!

検討ワークショップの開催

今年2月、基準作りの第一歩として、本計画の策定に携わった食育関係者と区職員でワークショップを実施しました。



参加者の声

私たちが食育活動で何を大切にしてきたのか、何を育もうとしてきたのか、区民と区の立場から「すみだらしい食育」への想いを言葉にして伝え合うとても良い機会になりました。各々が肌感覚で理解していた「すみだらしさ」から共通認識を見だし、取組を評価する基準が作れたら、活動を見直したり、新たに活動を始めたりするときの参考にもなりますからね。今後はさらに参加者を広げて検討されるようなので、様々な方と話をし、創り上げていくプロセスと一緒に歩めることが、今から楽しみです!

—すみだ食育goodネットの皆さん

今後のスケジュール

令和6年度

- 検討ワークショップの開催
- 基準による評価の試行、基準のブラッシュアップ

令和7・8年度

- 基準による食育の実践事例の評価

ワークショップ実施報告はこちら



評価内容は、次期食育推進計画の策定に活用していきます!

